



2024協約改訂を全組合員で闘おう！シリーズ④

ワンマン運転をやめろ！ 年休が入らないのは要員不足だ！ 第3回団交開催

本部は本日、2024年度労働協約改訂及び労働条件改善に対する第3回団体交渉を開催しました。今団交では、労使関係、安全対策、年休・要員問題などについて議論しました。

『労働協約』の団体交渉事項について、本部は「労働組合からの団体交渉の申し入れがあった場合、団体交渉を開催せよ。これが普通の労使関係だ」と迫りました。しかし、会社は「現協約で問題ない」と、憲法で保障されている団体交渉権を無視し、対立しました。組合掲示板設置について、本部は「現協約の解釈からしても、5人とする根拠はない。労働組合の主張を妨害する行為だ」と主張しました。しかし、会社は「許可を出すのは会社の判断だ」と拒否しました。

安全対策では、ワンマン運転の中止、特に業務改革の一貫である4両以上においては「状態監視は物理的に不可能だ。車載カメラにも死角がある」と、安全対策が不十分であることを強く主張しました。しかし、会社は「安全を確保しつつ進める。ワンマン運転をやめるつもりはない」と回答し、対立しました。

年休・要員問題について、本部は「新幹線職場を中心に年休が入らない状態が続いている。休日出勤をやっても入らない。要員不足が最大の原因だ。『必要な要員は配置している』との会社回答はデタラメだ。インバウンドで平日・休日問わず混雑している。54歳原則出向を悪用して、職場から追い出したことも要員不足の原因だ」と主張しました。しかし、会社は「ピークに要員を合わせない。当社の年休取得率は他企業と比べて良い」とどゴマカシの回答に終始し、対立しました。

※次回の第4回団体交渉は、8月28日に開催します。